

「ありたい未来」を共創する。

NA+URE
POSI+IVE
S+UDIO



未来の生活者発想で、「ありたい未来」の共創を支援

「Nature Positive Studio」は、ネイチャーポジティブを実現していくために、企業にとって重要な自然資本をもとに、未来の生活者発想でネイチャーポジティブのストーリーを策定し、それを実現するためのビジネスアクションの立案からコミュニケーション戦略の設計・実行までを包括して支援するソリューションです。

「Studio」に込めた意味は、企業やNGOなどの専門家などさまざまなステークホルダーが一堂に会し、未来への物語りを夢中になって語り、イマジネーションを広げる特別な空間である工房をイメージしました。

“未来の生活者”を洞察するチカラと、生活者の行動変容を促すクリエイティビティで、ネイチャーポジティブとビジネス機会の創出に貢献します。

「ありたい未来」を共創する。

NA+URE POSI+IVE S+UDIO



1. Our Approach

未来生活者発想を起点にネイチャーポジティブを実現する

ネイチャーポジティブとビジネスの接続には

ネイチャーポジティブは、新たなコスト負担ではなく、
ビジネスに新しい価値を生み出す = ビジネス機会として捉えること。

||
商品・サービスの価値を高める要素

持続可能な良質な自然資本の調達

生活者・社会の新しいニーズの発掘

ネイチャーポジティブの機会発見による
付加価値や、新しい価値の創造の連鎖

コミュニティでの良好な関係性の再構築

商品やサービスのイノベーション

企業にとっての重要な**自然資本（アセット）**を、
点で捉えるのではなく、**地域や社会とのつながりを明らかにし、**
未来の生活者発想でネイチャーポジティブのストーリーを描くこと。

生物多様性の特徴

違いや個性の存在

企業によって、自然資本や生態系サービスの内容が異なる

地球上には、知られているだけで**約175万種**、未知のものを含めると**3,000万種**とも言われる生物が存在。

その生物が森林、草原、湿原、里地域、河川、海洋などのそれぞれの環境に応じた相互の関係を築きながら、**様々な生態系**が存在。

暮らしとのかかわり

自然に加えて、地域や暮らしと密接なかかわり

地域によって**自然的・社会的条件が異なる**ため、固有種の存在など、生物多様性の状況における**地域差が非常に大きい**。

生物多様性は、伝統・文化とも深い結びつきがあり、**人と場所との相互のつながりが重要**であると考えられ、「地域性」が重要視されている。

長期の視点

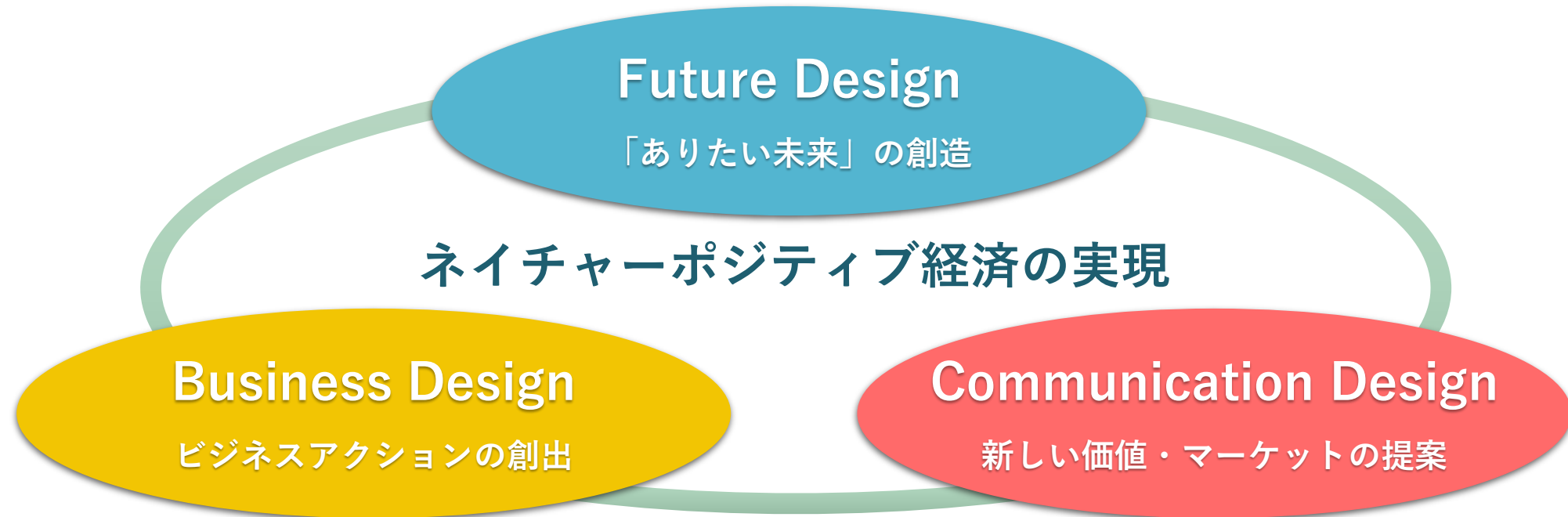
時間をかけてどう回復するかの長期の視点

すべての生きものは、**約40億年**もの進化の過程でこれらの環境に適応することで、多様に分化したもので、**超長期に渡り**つくられたもの。

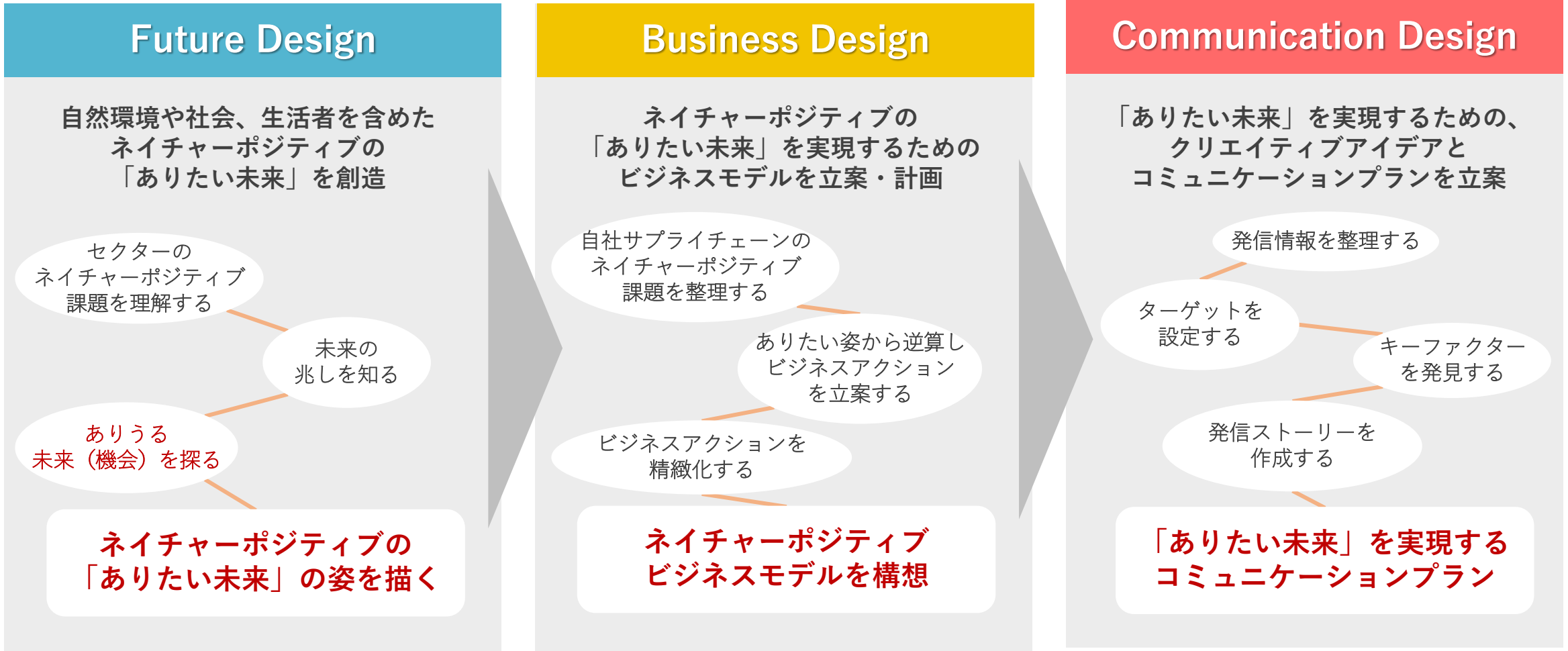
熱帯林の回復にかかる時間は、土壌については平均**10年**、植物や動物の生物多様性は**60年**と言われ、破壊以上に**長い時間**を要する。

自社と関係する重要な**自然資本（アセット）**を把握し、
自然環境だけでなく未来の社会や未来の生活者の暮らしも含め、
ネイチャーポジティブを実現していく**長期的な視点のシナリオ**を持ち、
未来の生活者を巻き込むストーリーを持つことが大切。

3つのアプローチから、
企業らしいネイチャーポジティブの価値を見える化し、ビジネス機会の創出を支援します。



3つのアプローチをしっかりと接続するために、
ネイチャーポジティブ経済の実現を目指す仲間とともに、
それぞれの専門性を生かしながらソリューションを提供します。



各セッションのアウトプットを、多様なステークホルダーとWS形式で共創

Future Design

生態系や地域社会、生活者を含めたネイチャーポジティブの“ありたい未来”を共創します。

Scenario Making
のフレームワーク

内部視点の未来事象と外部視点の未来兆しを
掛け合わせることで、未来シナリオを創発。

インサイド・アウト発想

アウトサイド・イン発想

1

主に内部視点から創出する
「未来事象」

2

主に外部視点から創出する
「未来兆し」

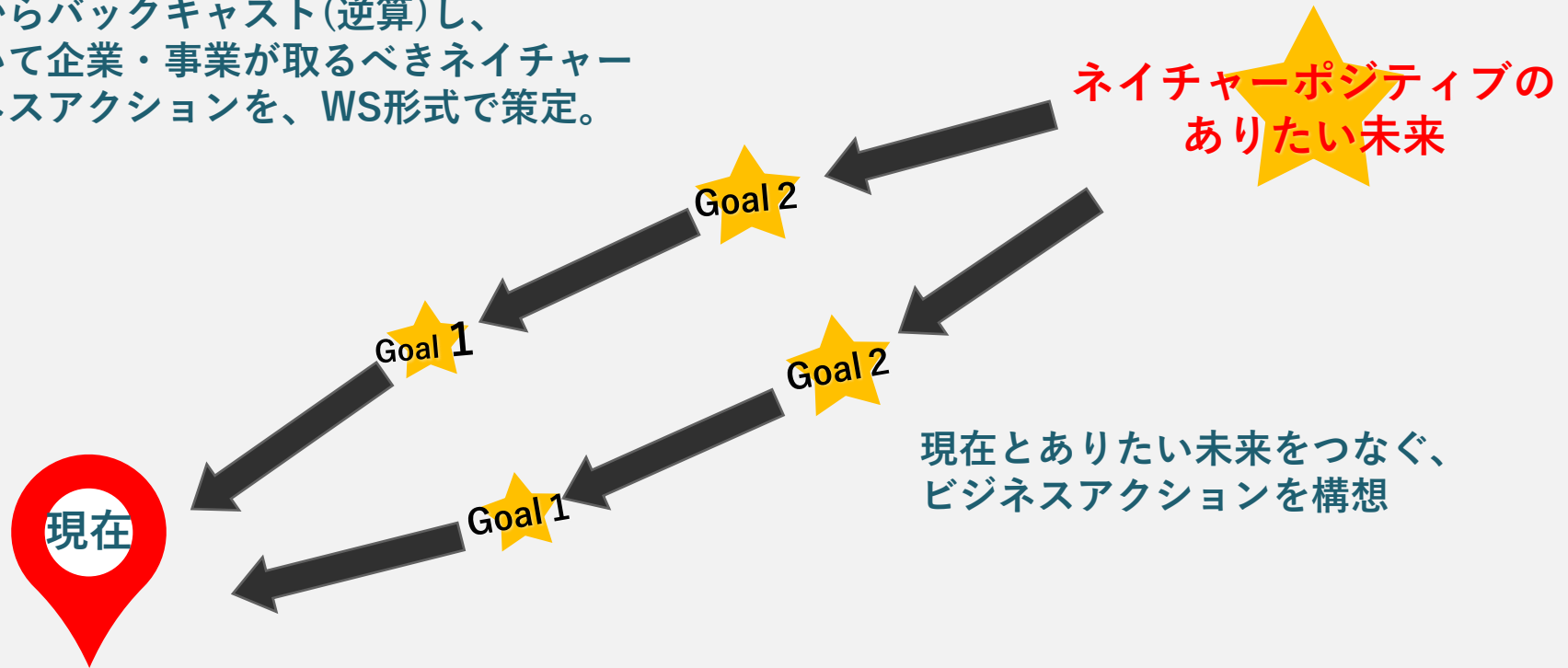
3

「未来事象」と「未来兆し」との掛け合わせにより
「未来シナリオ」を創発する

Business Design

“ありたい未来”を実現するために、
企業・事業が取るべきネイチャーポジティブの“ビジネスアクション”を策定します。

「ありたい未来」からバックキャスト(逆算)し、
現在～中長期において企業・事業が取るべきネイチャー
ポジティブのビジネスアクションを、WS形式で策定。

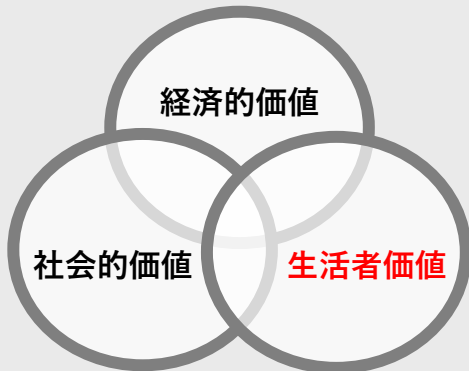


Communication Design

ネイチャーポジティブを実現するために、
生活者をはじめとするマルチステークホルダーと“ありたい未来”や“アクション”の新たな価値を共有し、
クリエイティブアイデアと統合コミュニケーションプランを立案・実行します。

ストーリーアセット分析

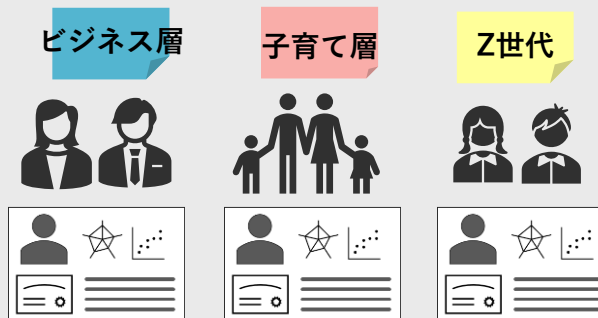
生活者の意識や行動変容を起こす
ストーリーのキーとなる資産を独自の分類手法を行い発見



ステークホルダーに賛同されるストーリーテリングの組み込みが非常に重要

ターゲット分析

社会の意識や行動変容を促すコアターゲットやターゲットのインサイトやペルソナを設定



コミュニケーション設計

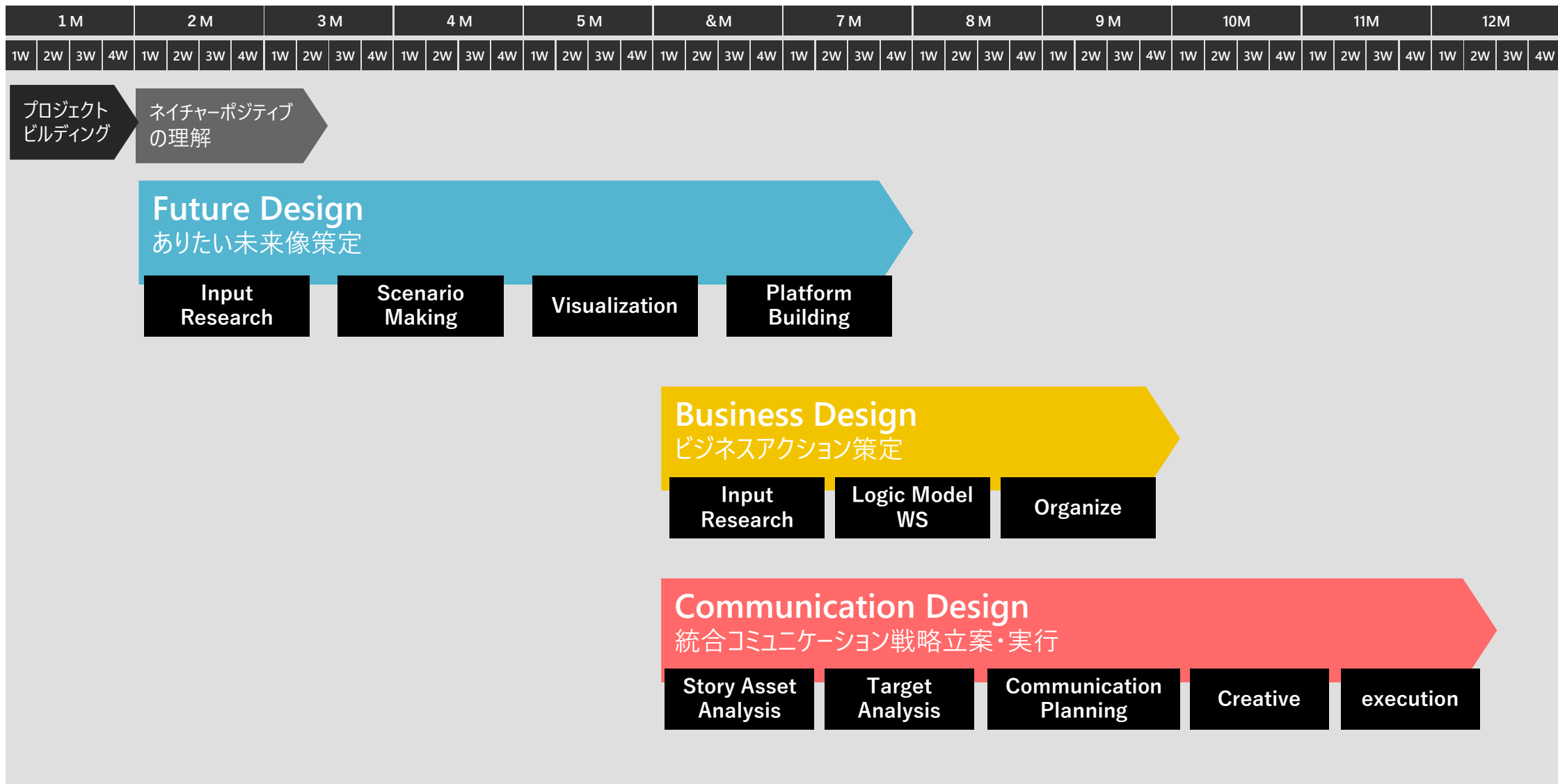
ストーリーやターゲット分析に基づき、クリエイティブアイデアとコミュニケーションプランを立案

クリエイティブ開発



統合コミュニケーション設計





「ありたい未来」を共創する。

NA+URE
POSI+IVE
S+UDIO

